



乃木小だより

～ かしこく つよく やさしい子 ～

「“顔晴れ” ＝ 声出せ 汗出せ 知恵を出せ ＝」

～ まつえ湖南学園 ～

松江市立乃木小学校

令和 7 年 1 月 23 日

(文責) 校長 野津

新しい年を迎えました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。昨年の創立 150 周年は、乃木小にとって大きな「節目」となりましたが、今、在学中のこどもたちにとっては、1 月 8 日が 3 学期の始まりと同時に令和 7 年の学校生活が始まる「節目」の日でもありました。始業式では、この「節目」について次のような話をしました。

林に生えている竹には「節目」があります。節目の近くが大きく伸びていく部分であり、この節目があることで、しなやかで倒れにくく、たとえ刈られてもそこからまた新しい芽を出すことができます。

人間も同じです。この節目があることで強く大きく成長します。1 年の始まりという大きな節目に、みんなはグリーンと成長し人間として立派になっていくことができます。

去年までのことを振り返ってみてください。自分で頑張ったこと、もうちょっと努力が必要だったと思うこと、いろいろあると思います。でも、今こそ気持ちを新たに、さらに自分をステップアップさせて成長するためのスイッチを入れる節目の時です。これまで以上に自分が高まっていく可能性をたくさんつかむことが期待できるのが今なのです。「いつやるか? 『今でしょ』」です。

そして、特に気に留めてほしいことは、去年自分は注意されることがよくあったな、うまくいかなかったな、もう少し改めなくてはいけないな、などとネガティブに感じている自分をリセットして再出発できるチャンスの時だということです。折しも今年はへび年。誰もが脱皮を重ね、新しい自分に生まれ変わり大きく成長する「変化」の年、「進化」の年にしてほしいと願っています。



節目(ふしめ)

＝ 避難訓練 ＝

1 月 21 日、火災を想定した避難訓練を実施しました。

乃木小の沿革史を調べると次のような過去の記述がみられます。

「昭和 11 年 1 月 23 日午前 3 時半頃理科室兼家事室ヨリ出火シ、講堂、女子便所及通路、使丁室、物置場ヲ残シ全焼ス」

「昭和 55 年 11 月 27 日 給食調理室全焼」



特に、昭和 55 年の火災については、当時の記憶を鮮明に覚えておられる方も少なからずおられるのではないかと思います。この翌日の新聞には、児童が整然と避難したこと、平常の訓練が実ったことなども記されています。こうした経緯もあり、乃木地区及び乃木小では防火・防災について訓練を重ね特に大切にされてきた歴史があります。

最近、連日テレビや新聞で火災の報道が流れています。同時に、地震や暴風雨などの自然災害に対しても日頃から高い意識をもって備え、対応していく必要があります。災害が起こらないことが一番ですが、歴史を教訓に、「もしも」の時には、安全・迅速に命を守る行動をとれるよう心がけていくことを確認したところです。

= メタセコイアの姿 =



撮影日 (R 7. 1. 8)



(R 6. 5. 29)



(R 6. 12. 2)

tetoru の配信に伴い、保護者の皆様にはこの学校だよりをカラーで見ただけできるようになりました。上の写真も違いがおわかりいただけるかと思います。(これまでどおりモノクロの印刷でお読みいただいている方は、ホームページを参照していただけたら助かります。)これは、学校の敷地のすぐそば、公民館にそびえ立つメタセコイアを校舎第2昇降口前から撮影したものです。一番左の写真が、今年の1月8日の始業式の朝撮影した最近のもの、中央は昨年の初夏、右側は先月12月のはじめに写したものです。

メタセコイアについては、この樹の横の看板に次のとおり説明されています。「1941年に三木茂博士によって化石をもとに学名登録された。当初化石として発見されたため、絶滅したと考えられていたが、1946年に中国の四川省磨刀溪で発見され『生きた化石』として有名になった。その後、アメリカをへて日本へ入ってきた苗木が、挿し木によって日本各地に広がり、学校や公園などに移植された。」

こうしたことから、現在では、日本の各地、多くの学校の敷地でもメタセコイアを目にすることがよくあります。メタセコイアは、数万年も前の大古から一度は絶滅したと言われながらも現存種の発見から見事に復活して世界に広まり、1年を通じて全体の姿を変えながら、乃木小の前でも毎年生き続けているのです。

今は冬です。1月から3月末まで、学校でいえば、ちょうど3学期にあたる今の時期は、左の写真のように葉っぱを落とし、見ようによれば少し寂しそうな姿のメタセコイアです。それが春を迎え、5月になると明るく元気なよい緑色の葉が茂るようになり、さらに秋を過ぎるとまるで何かをやり遂げて充実感が漂うような成熟した赤々とした見事な姿に変わっていきます。

よく「3学期は、次の学年への準備の時期」と言います。こどもたちにも、この時期のメタセコイアの姿に重ね合わせ、たとえすぐに結果が表れなくても必ずこの先につながるものがあると信じ、自分の目標に向かって粘り強く挑戦し続けてほしいと思います。短い3学期ですが、しっかりと栄養を蓄えていく気持ちで地道に努力を続け、新年度につなぎ、この令和7年、輝かしい成長をとげ、達成感を抱く中で大きな実りを手にする年末を迎えられることを願っています。

・・・これも、3学期の始業式でこどもたちに話した内容でした。